

取扱説明書

家具(テーブル・箱物・チェアなど)

- この度は、当社の家具をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取扱説明書は、商品を正しくご使用いただくため使用上の注意や取り扱い方法などについて説明したものです。組立て・使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書は、お読みになった後、納品書または領収書とともに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただくために、下記のような絵表示をしています。その表示と意味は次の通りです。内容をよく理解してから本書をお読みください。



警告

記載されている内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。(～してはいけません。)



注意

記載されている内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害が発生する恐れがあることを示します。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～しなさい。)

安全上のご注意

※下記に記したものは一部の例になります。



警告

守らないと、人が死亡または重症を負う可能性があります。



乳幼児を一人で家具の上で寝かせたり、遊ばせたり、そのまま放置したりしないでください。落下によるケガの原因になります。



テーブルの端に極端な力をかけないでください。また、家具本来の使用目的以外での使用は避けてください。転倒したりケガの原因になります。



箱物家具の場合、建物の壁・床・天井などに固定金具や固定部材でしっかりと固定してください。地震で家具が倒れケガの原因になります。



ガラステーブルの上に物を置いたりする場合は、静かに置いてください。衝撃的な力がかかるとガラスが割れてケガの原因になります。特に強化ガラスは特性上傷が生じた場合破損につながる恐れがありますのでご注意ください。



家具の上で飛んだり跳ねたり踏み台代わりに使用しないでください。バランスを崩し転倒しケガや破損の原因になります。



注意

守らないと、人体に危害があったり、物的損害につながる場合があります。



家具を移動する時は、手でしっかり持ち上げて運んで下さい。押したり、引いたりして移動するとフローリングなど床に傷をつける原因になります。



家具の上に重量物や鋭利なものを置かないでください。ものが落下しケガの原因になります。



急激な力で扉や引出しを開閉しないで下さい。家具が倒れてケガをする事があります。また、家具の破損の原因になります。



家具を移動する時は、倒れやすい物を取り除き必ず手を添えて行ってください。そのまま移動すると置いてある物が落下しケガの原因になります。



扉などにぶら下がったり引出しの上に乗ったり、大きな荷重をかけたりしないでください。家具が倒れてケガをする原因になります。また、家具の破損の原因になります。



テーブルを横にしたり立てかけたりしないでください。倒れてケガや破損の原因になります。

お取扱上のご注意

※下記に記したものは一部の例になります。



伸縮タイプのテーブルを伸縮するときは手を添えてゆっくりと行ってください。手を挟んだり、ケガの原因になります。



棚板には均等に物を載せてください。また、棚板の金具は確実に取り付けてください。棚板の反り、落下の原因になります。



熱いものや底のザラついたものを直接置かないでください。変色や傷の原因になります。ガラスの場合は割れる恐れがあります。



水気のあるものをこぼしたら素早く拭き取ってください。木部割れや、反り、変色などの原因になります。



臭いが気になる場合家具から放出されるホルムアルデヒドが残っている事が考えられます。お部屋の換気を十分にしてお取り除いてください。



組み付けネジがゆるんでいないか時々確認してください。外れてケガの原因になります。

Fujica

製品のお手入れについて

【ガラス製品】

■ お取扱上のご注意

ガラス面には強い衝撃を加えないでください。ガラス面の欠け、傷ができた際には、速やかな交換が必要です。ガラス棚に物を置く際は均等に配置してください。偏った置き方をすると棚板落下や破損の原因にもなります。

■ 日常のお手入れ方法

ガラス扉の場合、ガラス扉に直接クリーナーを吹きつけてしまうと塗装の艶や色が変わってしまうことがあります。扉に直接かけるのではなく、布にクリーナーをしみ込ませてガラスを拭いてください。ガラステーブルの場合、柔らかい布で乾拭きし、ちょっとした汚れは水拭きします。頑固な汚れはガラスクリーナーや薄い中性洗剤で落とし、洗剤をしっかり拭き取り乾拭きしてください。指紋や軽い汚れにはアルコールも有効です。消毒用エタノールやアルコールの入ったキッチン用の衛生スプレーなどでさっとふき取ってください。ガラスの照明器具のお手入れは必ず電源を切って熱が冷めてから行ってください。

器具から丁寧に取り外し、中性洗剤でやさしく洗い、しっかり水洗いしてよく乾かします。化学雑巾で拭くと油膜が付きこりの原因になります。くもりガラスは指紋がつかないようにゴム手袋などを使用してください。スタンドガラスはデリケートなので水洗いは避け、よくホコリを掃った後、中性洗剤を薄めた液を染み込ませよく絞った布で拭いてください。

【布張りソファの場合】

■ 日常のお手入れ方法

ホコリや汚れを定期的に取除いて、いつも清潔に保つことが張り地を長持ちさせるコツです。布表面のホコリを掃除機で吸い取ってください。その際、掃除機に付属の柔らかいブラシをご使用になると便利です。毛足の長いものは毛並みに沿ってブラッシングをしてください。タオル地のようなループのものはホコリを払うか掃除機で吸い取ってください。食べ物等をこぼした場合は、速やかにぬれタオルなどで叩くように汚れを落としてください。長時間おくと汚れが取れにくくなってしまいます。

■ 汚れてしまった場合

中性洗剤を薄めた40度くらいのお湯でふき取った後、きれいな温かいお湯で拭いてください。その際、後から前、上から下、または毛並みに沿って拭くとよいでしょう。カーペットクリーナーやカーペットシャンプーなどは使えますが、必ず目立たないところで試してから使用してください。漂白剤やシンナー、ベンジンなどはなるべく使用しないでください。

【革張りソファの場合】

■ お取扱上のご注意

直射日光や強い紫外線は色あせの原因になりますので、窓の近くや天窓の下など隣の当たる場所での設置は避けてください。また熱に弱いので、エアコンの噴出し口やストーブの近くには置かないようにしてください。アジロや膝などのかたいクッションやカバーは使用しないでください。ビニール製品などを長く重ねたままにしておくとう変色の原因になります。

■ 日常のお手入れ方法

普段は柔らかい布でやさしく拭いて清潔に保ってください。革には熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水分をこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。革表面に積もったホコリは掃除機で吸い取ってください。その際、掃除機に付属の柔らかいブラシをご使用になると便利です。その後、少量のクリーナーを濡らせた柔らかい布でお手入れしてください。このお手入れで製品のホコリを取り除くことができ、ホコリが革の内部まで浸透するのを防ぎます。特にアレルギー体質の方にはオススメです。

■ 汚れてしまった場合

汚れてしまったら、革専用のクリーナーを使用してください。少量のクリーナーで濡らせた柔らかい布でお手入れしてください。（クリーナーの説明書に従ってください。）また、使用する前に必ず目立たない部分に試し拭きしてください。方が変色したり風合が変わってしまった場合は元に戻りません。

■ 使ってはいけないもの

- ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など
- 固形のワックス、または革製品以外のワックス、クリーナー、科学雑巾、漂白剤など
- 硬い布、消しゴムなど
- ハンドクリームや牛乳など

【木製家具】

■ 日常のお手入れ方法

家具は直射日光の当たるところの設置は避けてください。表面の色味が変わってしまいます。また、冷暖房器のそばなど温度差の激しいところには設置しないでください。変形、変色、木目の反り、割れ等の原因になります。普段はマメに柔らかい布で軽く乾拭きをして、何かこぼしたり汚してしまった場合はすぐにふき取るように心掛けてください。つや消し塗装の家具に家具用のワックスを使うと、色ムラになってしまう場合がありますので注意してください。テーブルの天板には熱いままの鍋やカマン、コーヒーマグ等のカップを直接置かないでください。熱いものには専用の敷物を敷いて、また食事の際もテーブルクロスやランチョンマットを使うようにすると傷が付かなくて長持ちします。水に濡れた容器を長時間放置しておくとう輪ジミの原因になります。輪ジミは一度ついてしまうと取れないので気を付けてください。

■ 汚れてしまった場合

通常の汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯で100倍程度に薄め柔らかい布を浸し、固く絞ってふき取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をふき取り乾拭きします。食器棚などのガラス扉をクリーナーで拭く場合は、枠にクリーナーをつけないように注意してください。マジックなどの汚れの場合は中性洗剤で繰り返し拭き取ります。シンナーなどは使用しないでください。特にラッカー塗装は色落ちしてしまうので注意してください。除光液、マニキュア等のアルコール成分を含む液体の汚れは除去できませんので、ご注意ください。

【金属製品】

■ 日常のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭き、水拭きが基本となります。塩分のあるもの（食品など）の付着はサビや塗装の劣化につながりますので、速やかに除去して水拭きしてください。市販の金属用クリーナーをお使いになる場合は一度目立たない場所で試し、変色、キズの発生がないか確認の後にお使いになることをおすすめします。クレンザーは、表面に傷がつくので使用しないでください。また手あかや油脂などの油汚れにはこりがたまり、湿気を吸収しサビの原因となりますので、こまめにお手入れをしてください。

【メッキ仕上げ製品の場合】

メッキ仕上げの場合、手垢や油脂などがサビの原因となります。普段は柔らかい布で乾拭き、もしくは固く絞った布で水拭きをしてください。水拭きをした後は乾いた布でしっかりと水分を拭き取ってください。研磨剤は、使すぎるとすりキズをつけるだけでなく、アルマイト層を削り、酸化（サビ）、ゆがみの原因となりますので、予め説明書をよく読んでからお使いください。クレンザーは表面に傷がつくので使用しないでください。また、年に数回金属磨きやメッキ製品用クリーナーなどで念入りにお手入れを行ってください。なお、この場合も最後に必ず乾拭きを行ってください。研磨剤は、使すぎるとすりキズをつけるだけでなく、メッキ層を削り、酸化（サビ）、ゆがみの原因となりますので、予め説明書をよく読んでからお使いください。クレンザーは表面に傷がつくので使用しないでください。

【アルミ製品の場合】

柔らかい布で乾拭き、水拭きが基本となります。汚れがひどい場合には中性洗剤をぬるめのお湯で薄めて、柔らかい布などを使って表面を洗浄してください。次に十分に水拭きし、乾いた布でしっかりと水分を拭き取ってください。研磨剤は、使すぎるとすりキズをつけるだけでなく、アルマイト層を削り、酸化（サビ）、ゆがみの原因となりますので、予め説明書をよく読んでからご使用ください。洗浄剤や薬品は、アルミに影響がないことをご確認の上、ご使用ください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品はアルミを腐食させたり、塗膜はがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。歯ブラシ、サンドペーパー、洗車用のブラシ、ワイヤーブラシなどを使わないでください。製品に傷がつき、シミや腐食の原因になります。

【プラスチック製品】

■ 日常のお手入れ方法

プラスチック製品にはFRP、ポリプロピレン樹脂などがあります。経年によるシートシエルなどの材質の変色はある程度やむを得ません。ホコリや汚れが目立つのできめこまかく手入れをすることが大切です。中性洗剤をスポンジや布に含ませて洗い、柔らかい布で水拭きと乾拭きをします。クレンザーやブラシなどで磨くと表面に傷をつけ、ホコリが溜まりとれにくくなるので使用は避けてください。

富士家具工業株式会社
〒470-0224
愛知県みよし市三好町上砂後1
0120-82-7043